

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

アイデンティティを示すことばの代表は、名前だろう。「あなたは、だれですか」と聞かれれば、名前を答える。あたかも、名前こそが、私が私であることを証明してくれているようだ。

1 名前に対する二つの感覚——「名実一体観」と「名前符号観」

私たちの名前に対する考え方は、大きく二つに分けることができる。ひとつは、名は体を表す^a、名前は其人そのものであるという「名実一体観」。もうひとつは、名前は人物を特定する符号に過ぎないという「名前符号観」とでも呼べる考え方。¹ 私たちの名前に対する感覚は、この二つの考え方の間をさまざまな程度で行き来している。

日本の「名実一体観」は、すでに古代から神々、ミカド、天皇の名を書いたり口に出すことを避ける「実名敬避」の伝統にみられる。さらに、古代・中世においては、自分の名前を知らせることが、その人の弟子や従者になる、《1》、敵に降伏する意味を持っていた。

実名敬避の伝統は、現代でも、目上の人を名前で呼ぶことを避けるという形で残っている。会社では、下の方は上の人を名前ではなく職名で呼ぶが、上の方は下の人を名前で呼ぶ。社員は、社長を「社長」と呼ぶ。しかし、社員に「社員」と呼びかける社長はいない。「中村さん」と名前で呼ぶ。目上の方は下の人を名前で呼んでも良いのだ。家庭でも、弟は兄を「兄さん」と呼ぶが、弟を「弟さん」と呼ぶ兄はいない。学校でも、生徒は先生を「先生」と呼ぶが、生徒を「生徒」と呼ぶ先生はいない。

それ以外にも、名実一体観は、さまざまな所に顔を出してくる。

私たちは名前の言い間違い、読み間違い、書き間違いは、他のことばの間違いと比べて、失礼なことだと認識している。卒業式で、名前を読み間違えられたら、がっかりだ。「スマホ」「パソコン」など、なんでも省略して短く言う時代でも、人の名前は本人の承諾がなければ省略しない。

先日公園に行ったら、「シロ！」と呼ぶ声があった。すると、声の主をめぐって真つ黒な犬が走り寄ってきた。ちぎれるほどにしっぽを振って飼い主に頭をなでてもらっている黒い犬を見て、² 飼い主のユーモアに、ほっこりした。そして、「シロ」の意味など関係なく、自分の名前に反応する犬をかわいらしく思った。これも、「シロという名前ならば白い犬だろう」という名実一体観を裏切る命名だったからそのカンガイだろう。^①

名実一体観は、日本に限ったことではない。ファンタジー文学のベストセラー『ハリー・ポッター』シリーズでも多くの魔法使いが、闇の帝王「ヴォルデモート」を「名前を言うてはいけないあの人」と呼び、その名前を口にしないばかりか、ハリーがその名前を言うと、あたかも、名前そのものが本人であるかのように恐ろしがる。

グリム童話の中には、自分の名前を当てられると怒って自分自身を引き裂いてしまう小人が出てくる、『がたがたの竹馬こぞう』という話がある。

一人一名主義

名実一体観を大きく変更させたのが、³ 明治五（一八七二）年に明治政府が発布した改名禁止令と複名禁止令である。それまでの日本では、元服、襲名、出家、隠居など立場が変わることに改名していた。元服をすれば幼名から成人名へ（伊達梵天丸→伊達政宗）、^② 隠居をすれば改名（滝沢馬琴→滝沢笠翁）、出家をすれば俗名からカクミヨウへ、職業、立場、地位の変更が必然的に改名をともなっていた。このうち、カクミヨウは現在でも機能している。仏壇の中の位牌^{いはい}に書いてある名前だ。

さらに、官名や国名など一人の人が同時に複数の名前を使うこともまれではなかつた。「赤穂浪士」で有名な大石内

蔵の助の「内蔵助」は官職を指し、元の名は、大石良雄だ。官本武蔵の武蔵は、武蔵の国からきている。

江戸時代まで日本は多くの藩に分かれていた。《 2 》、明治時代になって、日本をひとつの国に統合しようとしていた明治政府にとっては、国民を把握してしっかり徴兵・徴税することが重要であった。そのため、国民が名前を変えたり、同じ人が複数の名前を使っていたのでは困る。そこで、一人がひとつの名前を使って戸籍を編製するように定めたのだ。改名するためには、国に届けて承認してもらわなければならなくなった。

私たちにとって当たり前になっている「一人にひとつの名前」が生まれた背景には、国家が国民を管理する目的があった。以降、国家は国民の名前をさまざまな形で規制していくようになる。

これを読んで、「そんなことはない。私の好きなアーティストは、みんな、個性的な名前活躍している」と、思った人があるかもしれない。その通りだ。私など、どちらが歌の題名で、どちらが歌手の名前なのか、わからないときがある。しかし、そんなアーティストも、税金を納めるときや、健康保険に加入するときには、戸籍に登録した氏名を使っているはずだ。

一人一名主義は、名前を、個人を識別する符号のようにみなす考え方に結び付いた。その結果、現代の私たちは名前に関して名実一体観と名前符号観の両方をあわせもつにいたったのだ。

アメリカの命名と日本の命名の違い

ちなみに、日本でも子どもに名前を付けるときと、アメリカなどのキリスト教圏でも子どもに名前を付けるときでは、大きな違いがある。

日本では、漢字やひらがなの意味や音、ジツラを意識して組み合わせることで、新しい名前を作ることが多い。一方、キリスト教圏では、いくつかある聖人の名前から選ぶほうが一般的だ。《 3 》、私のアメリカ人の友人には、ジョンがやたら多い。ジョンは、ヨハネに由来し、キリストの人間の父もヨハネだ。

このような命名方法の違いは、同じ名前を持つ人に対する感覚にも影響を与えている。新しい名前を作る日本では、同じ名前、しかも、漢字まで同じだと、その人に親近感を持つことが多い。一方、たくさんの「ジョン」がいるアメリカでは、相手も「ジョン」だと分かって、苦笑いするだけだ。

ある日、私のもとに、きれいな絵ハガキが届いた。だれから来たのかと差出人を見ると、「中村桃子」と書いてある。自分が旅先から絵ハガキを出した覚えはないが、宛名も中村桃子だ。読むと、本屋で私の本を見つけた方が、「 d 」、私と同じ中村桃子という名前の人で、うれしくなって、「 e 」ハガキをくださったそうだった。これも、名実一体観が生み出した縁だろう。もちろん、私もうれしくなってお返事を出した。

先日、出会った人は、もつと徹底していて、自分と同じ名前の人の会を作ったそうだった。たしか、「ひろゆき」だった。漢字も同じでなくてはならない決まりにしたが、全国各地から、さまざまな職業や立場の人が参加しているという。同じ名前を持つという親近感があったので、はじめから親戚のように話すことができたそうだった。このような感想も、名実一体観の強さを示している。

(中村桃子『「自分らしさ」と日本語』による。一部改変)

問一 二重傍線部①、③のカタカナを漢字に直して書きなさい。

問二 空欄《1》、《3》に入る語をア、オから一つずつ選び、符号で答えなさい。符号は一度だけ選択すること。

ア だから イ あるいは ウ なぜなら エ しかし オ すると

問三 波線部 a～c について、次の問いに答えなさい。

a 「名は体を表す」と反対の意味を持つことはア～オから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 汚名返上 イ 大義名分 ウ 有名無実 エ 事実無根 オ 一心同体

b 「まれではなかった」の本文中の意味をア～オから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 滅多にないことだった イ よくあることだった ウ めずらしいことだった

エ 必ずあることだった オ あつたりなかつたりすることだった

c 「苦笑いする」の本文中の意味をア～オから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 上から目線で意地悪く笑う イ 愉快になって大げさに笑う

ウ 面白くないが仕方なく笑う エ 空気を読んで控えめに笑う

オ 理由もないのにおかしくて笑う

問四 空欄 d と e に入る語をア～オから一つずつ選び、符号で答えなさい。符号は一度だけ選択すること。

ア わざわざ イ ゆくゆく ウ しばしば エ ときどき オ たまたま

問五 傍線部 1 「私たちの名前に対する感覚は、この二つの考え方の間をさまざまな程度で行き来している」とあるが、次の①～⑤のうち「名実一体観」の例には A を、「名前符号観」の例には B を書きなさい。

- ① 日本の会社では上司を役職名で呼び、部下は名前で呼ぶことが多い。
- ② アメリカでは同じ名前の人物に出会っても喜ぶようなことはない。
- ③ 日本では税金を納めるときや健康保険に加入するときは本名を使用する。
- ④ 人の名前に関する間違いは他のことばの間違いに比べて失礼だと考える。
- ⑤ 古代から神々やミカド、天皇の名前を口にするのは避けられてきた。

問六 傍線部 2 「飼い主のユーモアに、ほっこりした」のはなぜか。その説明として最も適当なものをア～オから選び、符号で答えなさい。

ア 飼い犬に「シロ」という色に関する名前をつけることで、名前から連想されるイメージをより鮮明にし、確かに名前は実体を表しているということを証明している点が興味深いと思ったから。

イ 飼い犬に「白黒をつける」という言葉に関する名前をつけることで、名前から連想されるイメージに反し、名前が実体から離れて一人歩きすることを指摘している点が愉快だと思ったから。

ウ 飼い犬に実際の様子と異なる名前をつけることで、名前から連想されるイメージを覆し、名前が必ずしも実質と一致するわけではないことを示唆している点が面白いと思ったから。

エ 飼い犬にあえて「黒」という名前をつけないことで、名前から連想されるイメージを払拭し、飼い犬そのものに目を向けさせる点に飼い主の犬への愛憎が感じられて心が温かくなったから。

オ 飼い犬に実物とはかけ離れた名前をつけることで、名前から連想されるイメージを裏切り、実際の犬を見た時の周りの反応を楽しんでいる点に飼い主のいたずら心を感じたから。

問七 傍線部 3 「明治五 (一八七二) 年に明治政府が発布した改名禁止令と複名禁止令である」とあるが、本文に記されている明治政府の意図を順に並べるとどうなるか。i ～ iii に入るものをア ～ オから選び、符号で答えなさい。

→ → 国民を把握する → → ひとつの国に統合する

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| ア 戸籍を編纂する | イ 徴兵・徴税する | ウ 複数の名前を使い分ける |
| エ 職業、立場、地位を変更する | オ 一人がひとつの名前を使う | |

問八 傍線部 4 「その通りだ」とはどういうことか。その説明として最も適当なものをア ～ オから選び、符号で答えなさい。

- ア 社会的地位によって呼び名が決まっていること。
- イ 国家によって名前の使用が制限されていること。
- ウ 本名とは別の名前で活動している人もいること。
- エ 歌の題名か、歌手の名前かが判別できないこと。
- オ 社会で通用する名前は一つしか持てないこと。

問九 傍線部 5 「日本で子どもに名前を付けるときと、アメリカなどのキリスト教圏で子どもに名前を付けるときでは、大きな違いがある」とあるが、アメリカなどのキリスト教圏と日本の違いを説明した次の文の空欄 1 と 2 にあてはまる内容をそれぞれ十五字以内で書きなさい。

日本では【 1 】が、アメリカなどのキリスト教圏では【 2 】。

問十 次のア～オのうち、本文の趣旨と合致しないものを選び、符号で答えなさい。

- ア かつては人の名前として官名や国名などが用いられることもあった。
- イ 名前は自分を他者と区別し、ほかならぬ自分であると感じさせるものである。
- ウ 実名敬避には名前によってその人の正体が明かされることを避ける目的もある。
- エ 現代では名前を変えるために国の承認を得なければならない。
- オ 同じ名前の人に親近感を覚えるのは、名前が一人にひとつしかないからである。

二 次の問いに答えなさい。

問一 ①～⑩の傍線部の読みを書きなさい。

- ① 代表に全権を委ねる。 ② 親の愛に育まれる。
 ③ 時間を稼ぐ。 ④ 滑らかな口調で話す。
 ⑤ 弱者を虐げる。 ⑥ 校舎の老朽化が進んでいる。
 ⑦ インフレが生活を脅かす。 ⑧ 恐慌で銀行が破綻した。
 ⑨ 日光を遮断する。 ⑩ 前言を翻す。

問二 ①～⑩の四字熟語の□にあてはまる漢字をア～ソの中から一つずつ選び、符号で答えなさい。

- ① 一知□解 ② 一刀□断 ③ 金科□条 ④ 金城□壁
 ⑤ 牛飲□食 ⑥ 十□一日 ⑦ 深□遠慮 ⑧ 千□万別
 ⑨ 内□外患 ⑩ 竜頭蛇□

ア 玉 イ 刻 ウ 差 エ 鉄 オ 湯 カ 年
 キ 馬 ク 半 ケ 尾 コ 百 サ 謀 シ 木
 ス 憂 セ 楽 ソ 両

問三 次のカタカナにあてはまる漢字をそれぞれのア～オから一つ選び、符号で答えなさい。

- ① 名画をカン賞する。 ② 親のカン涉がうるさく思われる。
 ア 干 イ 完 ウ 寛 エ 感 オ 鑑
 ③ 学力がコウ上する。 ④ 不正がコウ常的に行われている。
 ア 口 イ 交 ウ 向 エ 恒 オ 厚
 ⑤ 病状が快ホウに向かった。 ⑥ 病人を介ホウする。
 ア 方 イ 法 ウ 放 エ 抱 オ 報
 ⑦ 工場を誘子する。 ⑧ 局子的な豪雨に見舞われた。
 ア 地 イ 知 ウ 致 エ 遅 オ 置
 ⑨ 海苔^のを養シヨクする。 ⑩ 接シヨク事故を起こす。
 ア 色 イ 食 ウ 触 エ 殖 オ 囁